

平成25年第5回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	7番	西川 美佐保 (60分)	<p>1. 環境未来都市「スマート・シティ」の構築を</p> <p>(1)市の環境に対するビジョンについて</p> <p>①市は平成23年3月11日の大震災を受けて、平成19年3月に発行した羽村市環境基本計画（改訂版）の理念やあり方を、新たな基本計画にどのように反映させようと検討しているのか。</p> <p>②市の新エネルギーに特化したビジョンを作ってはどうか。</p> <p>③具体的に地産地消の再生可能エネルギーをどう推進するのか、市消費生活センター、事業者、知識経験者、銀行等と官民連携を促進してはどうか。</p> <p>(2)スマートシティ構想について</p> <p>①市はスマートシティ構想についてどのような構想を描き、構築していくのか、西口土地区画整理事業と市全体への取り組みについて伺う。</p> <p>②都は6月より、家庭や企業の省エネ機器購入に、条件付きで補助金制度を始めたが、市としてはどのように取り組んでいくのか。</p> <p>③走行中でも停止中でも電力供給できる電気自動車システムが研究されているが、「電気バスはむらん」で、国のモデル事業に手を挙げてはどうか。</p> <p>④今後増えて行くであろう、電気自動車や電動アシスト自転車、電気スクーター等の充電器の整備についての考えを伺う。</p> <p>2. 雇用形態の見直しで、行財政改革を</p> <p>(1)現在市の正職員と臨時職員等はそれぞれ何人か。また、各部別の正職員と臨時職員等の比率はどうか。</p> <p>(2)臨時職員の仕事を、労務管理や社員教育にも責任を持つ民間事業者へ委託することについて、検討してはどうか。</p> <p>(3)昨年労働契約法の改正により、本年4月より、5年以上続けて労働している場合、本人の申し出により、無期労働契約が可能となったが、市もこのような方法の活用を検討してはどうか。</p> <p>(4)職員の能力・業績を給与へ反映をするため、勤務評定による勤勉手当などの増減を行う予定はあるか。</p> <p>(5)予算、決算書に正職の方の給与は人件費に、臨時職員の方の給与は物件費に入り、全体の人件費と人数が分からないので、もっと見える化をすべきではないか。</p>	8月27日

2人目

3番

中 嶋 勝
(60分)

(6)これまで質問してきた市職員の働きがいのある給与体系を、どのように構築していくのか。

3. 日本文化の継承として、大正琴を教育に

(1)小・中学校の教育に大正琴を取り入れ、具体的に学ぶ機会を推進してはどうか。

(2)生涯学習センターゆとろぎで、伝統文化事業として大正琴を取り入れてはどうか。

(3)市民の伝統文化を学ぶ郷土博物館では、「お月見飾り」等を催しているが、そこに「大正琴」を市民や団体との連携で演奏して頂くなど、伝統文化に触れる機会を増やしてはどうか。

8月27日

1. 憩いの場 公園の整備について

(1)樹木の中でも特に高木の剪定について

①毎年市民からどれくらいの要望があり、それに対しどう対応しているのか。

②高木剪定の予算が年々少なくなり、数年前より約半額になっているがなぜか。また逆に予算を増額し、各公園を定期的に剪定していつてはどうか。

③秋から冬にかけては落ち葉の対応が大変だが、近隣住宅の雨どいが詰まる等の苦情も寄せられていると聞く。対策は何か考えているか。

(2)遊具の安全管理と増設について

①遊具の故障、または整備が必要との声を聞くが、公園施設維持保全計画の完成予定と実施への計画を伺う。

②遊具の中でも健康遊具の増設を望む声があるが、今後の増設計画を伺う。

(3)トイレについて

①動物公園麒麟駐車場（第一駐車場）にトイレの設置要望がある。周辺も含め検討してはどうか。

②なかなか取れない臭いや尿石の清掃に、オゾン水を使ってみてはどうか。

(4)砂場について

①犬やネコのフンの苦情を聞くことがあるが、砂の清掃や管理の状況を伺う。

(5)緑地公園等を保全してくれている稲荷緑地の会、美原里山保存会らの市民ボランティアに対して、市としてどういった支援をされているか。

2. 自転車運転の安全対策について

(1)市内における自転車がかからむ事故で過去3年間の年代別件数を聞く。

①高校生まで

②50代まで

③60代以上

(2)7月から施行された東京都の「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を受け、市は

どう取り組んでいくのか。また羽村市としても条例化する考えはあるか。

(3) 良い効果を上げているスタントマンによる安全運転教室について

① 小中一貫教育が叫ばれている中、小学生まで参加させてはどうか。

② 今後高齢者の参加をさらに促すための施策をどう考えているか。

(4) 加害者になった場合、高額な賠償請求の事例が相次いでいるが、

① 自転車保険の加入促進についてどう進めてきたか。

② 全児童・生徒に保険加入をしている自治体もあるが市の考えはどうか。

③ 自転車事故による死亡の約6割以上が頭部に起因するとの事。特に危険度の高い児童・生徒及び高齢者へのヘルメット着用に関して市の見解を聞く。

④ 携帯、スマホ、傘、イヤホン等の「ながら運転」禁止への教育はなされているか。

(5) 市内の道路において「自転車通行レーン」を設置する箇所といつ頃かの予定を聞く。

3. 戦後70年へ 平和思想の拡大を

(1) これまでも「平和の企画展」等、平和と反戦への啓発活動をしてきたが、2年後には戦後70年の節目を迎える。平和事業に対し、実施計画を作成し取り組むとのことだったが、どのような計画で市民への平和思想の拡大をしていくのか。また、戦後70年の時には特別企画としての開催を計画してはどうか。

(2) 未来を担う小・中学生への平和教育は非常に大事であると考え。児童・生徒一人ひとりが取り組める課題の提供や企画展等へ全クラスが参加しての平和学習を望むがいかがか。

(3) 青梅市では「ヒロシマ親子派遣事業」で次世代につながる平和事業をしているが、羽村市としても同様の事業ができないか。また、平和への思いを共有している西多摩地域広域行政圏としても1つの共同事業にして大きな平和の波をこの地域から発信してもらいたい、検討してみようか。

(4) 「平和の企画展」の充実だけでなく、絶対悪である原爆等核兵器の恐ろしさを知らせ核兵器廃絶への啓発ができるような特別展示の開催を提案する。

(1) 市民活動センターの拠点としてまた、地域の中核施設として位置づけるために今後、どのような運営がされていくのか。

(2) 老人福祉部門の今後について

① 市民活動センター機能を強化した場合、老人福祉施設機能に変化はあるのか。

② 平成 24 年度公開型事務事業外部評価の結果を受け示された市の方針である「コミュニティセンターと老人福祉センターの利用者が相互に施設を利用できるような利用環境を整備していく」の内容について伺う。

(3) 市内部でのプロジェクトチームでの検討はここまで進んでいるのか。

2. 「羽村の水」をいつまでも飲み続けるために！

(1) 地下水の保全について

① 「東京都湧水等の保護と回復に関する指針」に示されている市区町村の取り組みに関し、新たに策定される「環境基本計画」の中では、どのように重点項目として計画づけられているのか。

(2) 水道事業について

① 使用料等審議会では水道料金についてどのような審議がなされているのか。

② 「水道ビジョン」には現金保有高は平成 25 年度に補いきれなくなると示されているが、現時点ではどのような状況か。

③ 消費税が 8% になった場合、施設整備や維持管理費用等、事業全体に及ぶ影響額はどの程度になるか。

④ 平成 27 年度に策定予定の「水道管路耐震化更新計画」はどのような内容（委託先、計画期間等）なのか。

⑤ 多摩水道連絡会の情報は収集しているか。

⑥ 「水道ビジョン」に示されている課題の進捗状況について

a. 委託業務の拡充

b. 水安全計画の策定

3. 公共施設使用料の市内在住・在勤と市外の料金見直しを！

(1) 使用料審議会では「市内在住・在勤者」と「市外」利用者の使用料金の料金の設定についてどのような審議がされているのか。

(2) 市内在住・在勤者と市外利用者の現行使用料金の設定は、差がなさすぎではないかと考えるが見解を伺う。

(3) 公共施設を利用する場合、市内在住・在勤者と市外利用者が明確に区別できる工夫をするべきではないか。

1. 「花と水と童話」のまちづくりを

- (1) 羽村市動物公園は指定管理者となって、「童話の動物園」という企画を進め、マスコミでも何度も取り上げられてきた。この企画は市内外からの評価も高いと聞いている。この童話の動物園というコンセプトのもと、さらに動物園を充実させていく考えはあるか。
- (2) 市内には漆原智良氏、内田麟太郎氏、最上一平氏など著名な児童文学作家の方々が在住である。児童文学作家の皆さまを中心としたイベントや講演会、講習会などを企画していく考えはないか。
- (3) 春には「花と水のまつり」が毎年開催されており、羽村市は「花」と「水」が市のイメージとして定着し始めている。それに加えて「童話」という視点をいれて、「花と水と童話のまちづくり」として羽村市をアピールしていったらどうか。
- (4) 童話のまちにふさわしく、以前にも提唱した(仮称)羽村ゆとろぎ童話コンクールを創設し、子どもだけでなく、大人も参加できる全国規模のコンクールを開催してはどうか。
- (5) 童話のまちづくりを推進するには、図書館の役割が大きいと考える。今後、この図書館の充実をどのように図っていく考えか。

2. 子育て支援の組織体制の充実を

- (1) 保育園の民営化について、これまで進めてきた経過と今後の予定について聞く。
- (2) 学童クラブ・児童館を発展的に充実させるため、指定管理やPFIなど民営化に向けた取り組みを開始する考えはないか。
- (3) 放課後子ども教室を市内小学校全校設置に向けて進めているが、現在実施している教室の成果と今後に向けての課題は何か。
- (4) 発達障がいの子の支援体制強化が求められている。以前より何度も提案している、発達障がい支援室を早急に設立する考えはあるか。
- (5) 教育委員会事務局に子ども家庭部の業務内容を含み、取り組んでいる自治体がある。この体制の長所と短所をどう分析しているか。また、羽村市で導入する考えはあるか。

3. 各地域の実情にあった防災対策を

- (1) 羽村市地域防災計画に、各地域の実情や課題をどのように反映させたか。
- (2) 各地域の実情にあった防災対策を今後どのように推進していくのか。
- (3) 各地域の自主防災組織の活動に対する支援と今後の支援計画は。
- (4) 風水害対策における災害危険個所のある地域への対応は。

5 人目

13 番

濱 中 俊 男
(55 分)

(5) 土砂災害対策における土砂災害警戒区域がある地域への対応は。

8 月 27 日

1. 子育てに関して

(1) 平成 26 年度終了の次世代育成支援行動計画の以降の計画は。

(2) 羽村市子ども・子育て会議は、どう進んでいるか。

(3) 大島子ども体験塾について

① 今までの取り組みは。

② 今後、より拡充したものにすべきと思うが、市の考えは。

(4) 学童クラブ、放課後子ども教室、児童館について

① それぞれの事業の課題をどう捉えているか。

② 学童クラブを小学校内へ移動すべきと思うが、市の考えは。

③ これらの施設の民間委託や指定管理者制度の活用については、近隣自治体においても行っているが、市の考えは。

(5) 子どもを生み育てやすい環境の整備は、今後ますます重要になることは言を待たない。市は子育ての課題についてどう考え、どう行動しようとしているのか。

2. 卓球場について

(1) 市民の卓球人口はどのくらいか。

① 幼児、小中学生、高校生は。

② 成人は。また、中心となる年齢帯は。

(2) 卓球を行う環境（卓球場等）はどうか。また、床面はフローリングか絨毯（カーペット）か。

① 市内においては。

② 近隣市町は。

(3) 羽村市スポーツセンターの卓球場について

① 卓球場を設置した経緯は。

② 卓球場の床を、現在のブルーのカーペットからフローリングに変えてほしいとの声があるが、市の考えは。

③ 卓球をホールで行う場合と卓球場で行う場合とでは、使用料に差はないか。

(4) 就学前の子どもから高齢者までが楽しめる卓球の環境づくりを、どう考えているか。

3. 道路の通称名の表示板について

(1) これらの表示板が設置された、時期といきさつ、また数量は。

(2) 読みづらくなった名称由来説明板を改修する予定はないか。

1. 公有資産を活かすマネジメントが、自治体経営改革のポイント

- (1) 公有資産の活用のあり方は、まず全庁的な意見集約を図ることが重要と考えるがいかがか。
- (2) 総人件費、公共サービスの総点検、外郭団体、資産・債務の見直し、公会計制度はどう考えるか。
- (3) 公有資産の最適な処分・有効活用に関する維持管理や改造など、必要性、物理的性能、経済的価値等のアセスメント（査定・算定）を基に、民意を反映し最適活用を図るべきと考えるがいかがか。
- (4) 個別資産ごとに戦略を立て、処分（売買）・有効活用（施設等の建設）、統合（集約）等を図り、取り組むべきと考えるがいかがか。
- (5) 羽村市の公有資産で未利用地は市内のどこに、どの位あるのか。
- (6) 公有資産は活用されて、存在価値が上がると考えるが、市民が求める、町内会館・自治会館への改造や改築などの要望についてどう捉えているか。
- (7) (6)について、小作台西・栄町1丁目の町内会館の改造・維持管理については、長年据え置かれているが、現状のままでは、特に高齢者にとって危険も伴う問題であることから考えはいかがか。

2. 経済活性化戦略としてのアグリビジネスの具体策をどうするか

- (1) 羽村市は大消費地である大都市や都心を控えており、商品の生産から流通・加工販売においても、他の自治体と比較しても有利で「需要を期待できる立地条件」下にある。北杜市は高品質で豊富な農・畜産品があり、材料等の「供給」量の確保は十分可能と考える。流通を考えると道路網も整備されてきたことから、農業のアグリビジネスを構築する条件の根幹は備えてきたと考えるが、問題はその諸条件を「誰がどうつなぎ活用するか」であり、そこで行政の出番と考えるがいかがか。
- (2) 農業のアグリビジネスを現実化することは、地域経済の活性化をはじめ空き店舗対策、雇用対策ともなることから、積極的に取り組むべきと考えるがいかがか。
- (3) 羽村市の市域を、①羽村堰・多摩川周辺地域、②羽村駅前地域、③富士見平地域、④小作駅周辺地域の4か所に分けて考え、それぞれの地域特性を活かした戦略の上でトータルとしての市域全体の構想を練る、積み上げ方式が望ましいと考えるがいかがか。

7 人目

5 番

鈴木拓也
(60 分)

(4) 具体策として以前一般質問した屋台村は、小資本で独立を目指す人にとって魅力と考えるが、その後どうなっているのか、再度伺う。

1. 「横田基地へのオスプレイの飛来をゆるさない」の声をあげよう

(1) 横田基地へのオスプレイの配備について、どのような情報を市は得ているか。

(2) 横田基地周辺市町基地対策連絡会が 7 月 30 日におこなった要請はどういった内容か。それに対する要請先からの反応はどうだったか。

(3) この問題に関して東京都への働きかけはおこなっているか。都の対応はどうか。

(4) オスプレイの危険性、騒音被害、沖縄での飛行実態について、羽村市はどういう認識をもってしているか。

(5) 基地周辺 5 市 1 町や、青梅市、あきる野市などの自治体や、市民との連携を強め、都や国への働きかけをさらに強めていく必要があると考えるが、市の考えはどうか。

(6) 「航空機の騒音が増している」との市民の声があるが、実態はどうか。

2. 公共料金の値上げストップを その②水道料金

(1) 来年 4 月から消費税増税が予定されており、市民負担は大きく増す。こうした中、市民誰もが利用している水道料金の値上げは極力おこなうべきではないと考えるが、市の考えはどうか。

(2) 前回の使用料等審議会の答申では、平均 18% の水道料金の引き上げをおこなわないと健全な経営が維持できない（～平成 25 年まで）との報告がなされた。結果として引き上げは実施されなかったが、水道事業会計の実態はどうだったか。

(3) 現在の水道事業会計の厳しさの原因は何か。それへの対応策はどうとられているか。

(4) 市民負担を極力おさえるためにも、適切な起債、補助金獲得、一般会計からの繰り入れなどが必要ではないか。

(5) 日立国際電気の撤退、イオンタウンの出店による水道事業会計への影響はどう考えられるか。

(6) 水はむら事業の収支はどうなっているか。収益をあげられる事業への脱皮が必要なのではないか。

8 月 28 日

8人目

8番

橋本弘山
(60分)

1. 職員地域担当制の導入の検討について

- (1) 羽村市在住の職員とそれ以外の職員の構成割合は。
- (2) 全職員の各町内会・自治会への加入状況はどうか。
- (3) 全職員に対して、居住する各町内会・自治会の行事や各種活動等へ積極的に参加、協力することを奨めているのか。
- (4) 現在、羽村市においてこの『職員地域担当制』と同様な取り組みは一部でも実行されているか。
- (5) 羽村市が抱える課題解決のために、その目的や制度の中身については必ずしも習志野市とは同様ではなくても、この制度の導入を検討してみたらいかがか。
- (6) 羽村市でこの『職員地域担当制』を導入する場合の課題は何か。

2. 市役所の駐車場対策と公共施設の有効利用について

- (1) 羽村市が設置している庁舎での審議会、委員会、協議会などの会合はおおよそどの位あるのか。
- (2) そうした会議は、年間おおよそどの位開催されているのか。
- (3) それらの会議等の開催場所を、他の公共施設を有効活用することにより市役所に併設する駐車場の混雑の緩和が図られるのではないかと考えるがいかがか。
- (4) 今回の庁舎耐震改修工事での駐車場対策はどうなっているのか。
- (5) 市役所駐車場が満杯になる状況の把握、分析をしているか。またその対策は講じているのか。

8月28日

9人目

4番

富永訓正
(50分)

1. これからの西口の土地区画整理と都市整備について

- (1) 西口の土地区画整理において、今後、地権者への配慮をどのように考えているか。
- (2) 市民からは「土地区画整理事業のスピードアップを」との意見も多く聞くが、西口の土地区画整理の現在の進捗状況と今後の計画を聞く。
- (3) 国・都の補助事業の有効活用をどのように図っていくか。
- (4) 換地に伴う住宅の移転・移築・更新に伴う防災、省エネ性能・環境への配慮はどのように反映されるのか。
- (5) 西口駅前としての立地条件や利便性を生かした、西口駅周辺の都市機能の充実への考えを聞く。
①市が考えている西口駅前、駅周辺の将来像を聞く。

8月28日

- ② J A にしたま本店の建物は、移転の対象となるのか。
- ③ 大型商業施設の誘致について。
- ④ 民間施設等を活用するなどした公共施設の他、子育て支援、地域交流等の場や N P O ・市民・企業などによる複合施設などの整備について。
- ⑤ 駐車場・駐輪場の整備について。
- (6) 羽村東部踏切西側歩道が整備されたが、踏切で行き止りになっていることについて聞く。
- ① 車両と歩行者兼用の踏切に、歩行者用踏切の設置が必要ではないか。
- ② 都道 3 ・ 4 ・ 12 号線を挟む駐輪場の横断への安全対策が必要では。
- ③ 都道 3 ・ 4 ・ 12 号線と青梅線との将来的な立体交差に伴う駐輪場対策を聞く。

2. 多摩都市モノレールの羽村市ルートの実現化を

- (1) 現在、将来的な構想路線とされている、箱根ヶ崎から羽村市を通りあきる野、八王子方面への路線「羽村ルート」に対する市の考えを聞く。
- (2) 「羽村ルート」に対する現状と将来への見通しを聞く。
- (3) 「羽村ルート」の実現化に向け、市として、どのような取り組みをしているか。

3. 三中前歩道の瑞穂町側への延伸を

- (1) 三中前歩道の瑞穂町側への延伸に対する市の考えを聞く。
- (2) 延伸への問題点があるとすれば、それは何か。

1. オスプレイの横田基地配備を許すな

- (1) 米太平洋空軍司令官の発言で、オスプレイの配備先に横田基地があげられ、日米の政府が協議中であるとの報道があった。羽村市に対し、事前に何らかの連絡はなかったか。
- (2) 7 月 30 日に、羽村市は横田基地周辺市町基地対策連絡会として、オスプレイの横田基地配備検討撤回の要請を行ったが、政府からの返答はあったか。
- (3) 米空軍に対し、横田基地配備検討撤回の直接要請行動は行わないのか。
- (4) オスプレイの横田配備は、決して認めることはできない。市民のみなさんと連携し、反対の行動をさらに広げてはどうか
- (5) 8 月 5 日、米軍ヘリコプターが沖縄キャンプ・ハンセン内に墜落・炎上し、飛行訓練の危険性を明らかにした。この夏、横田基地の騒音が激しく、低空飛行も目立つ。住宅密集地での飛行訓練は中止するよう求めるべきではないか。

11 人目	2 番	富 松 崇 (50 分)	<p>(6) 日米地位協定の見直しが必要と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>2. 全小・中学校で太陽光発電を</p> <p>(1) 市内の太陽光発電量は、電力消費量の何%ほどか。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーの普及達成、またはエネルギーの自給率の目標値を持っているか。</p> <p>(3) 杉並区では地域エネルギービジョンを策定し、全小中学校 66 校の体育館に太陽光パネルを 3 年計画で設置することを位置づけ、計画的な再生可能エネルギーの生産に着手した。羽村市でも、エネルギー計画を策定してはどうか。</p> <p>(4) 市内では、栄小学校のみが太陽光発電を実施しているが、全小・中学校で順次、取り組んではどうか。</p>	8 月 29 日
12 人目	11 番	馳 平 耕 三 (60 分)	<p>1. インターネットを活用した情報発信について</p> <p>(1) ホームページについて</p> <p>① 現在使用しているシステムはどのようなものなのか。</p> <p>② 更新はどのような流れで行っているのか。</p> <p>③ ホームページに関する職員研修等は行われているのか。</p> <p>④ 掲載できる写真の大きさに制限があるのか。</p> <p>⑤ ホームページ全体の状況等、管理を行う部署は。</p> <p>⑥ ミニアンケートの集計状況は。</p> <p>⑦ 公式サイトに関する問合せに対する回答にはどの位の時間がかかるのか。</p> <p>⑧ 閲覧者が目的の情報になかなかとどり着けないという声を聞くが、それについてはどのように考えているか。</p> <p>⑨ 今後、ホームページの充実はどのように図っていく考えか。</p> <p>(2) SNS (ソーシャルネットワークサービス) を活用した情報発信について</p> <p>① フェイスブック等、SNS を活用した情報発信の準備状況は。</p> <p>② SNS を利用する場合の問題点はどのように考えているか。</p> <p>③ 近隣自治体ではどんどん開設しているが、羽村市で開設しない理由は。</p>	8 月 29 日
<p>1. 横田基地問題には、市長のリーダーシップと市民への情報公開と丁寧な説明が必要ではないか</p> <p>(1) 横田基地へのオスプレイ配備について、現状では、横田基地や国から何らかの説明を受けているか。また、受けているとしたらどのような内容か。</p>				

(2) 米軍の軍用機が万が一、羽村市で事故を起こした場合、危機管理上の体制として、どのように米軍や自衛隊と協力し、市民の生命・財産を守る考えか。

(3) 友好祭は、本年は中止となったが、今後はどうなるか、米軍から説明はあったか。また、軍からは予算削減という説明があったが、予算をかけずに友好を深める友好祭のあり方など、基地周辺の自治体と協力して提案してはどうか。

(4) これまで、横田基地の問題については、市民への情報公開が不足していたと考えられる。今後、市長がリーダーシップを取って市民への情報公開を積極的にすすめていく必要がある。オスプレイの問題等も、今後、市民への丁寧な説明が不可欠だと考えるが、どのような体制で市民に説明していく考えか。

2. 暴力団排除条例制定後の、市内の状況を問う

(1) 条例制定前と制定後では、市内の暴力団事務所の数、構成団員はどう変化したか。

(2) 条例制定後、市民や市役所と暴力団関係者との間で、何らかのトラブルがあったか。

(3) 条例の趣旨をより広く理解してもらうために、今後も、市民への情報提供や周知が必要だと考えるが、どういう方法で伝えていく考えか。

(4) 暴力団に限らず、夫婦間での暴力や指導に名を借りた暴力が顕在化するようになってきた。こうした状況を市長はどう分析しているか。また、こうした「暴力」の排除にむけて、市長はどのように具体策を講じる考えか。

3. 羽村市水上公園での事故等について問う

(1) 事故の詳しい内容と、市として事故直後からこれまでどう対応したか問う。また、被害者や遺族に対して、今後どう対応していく考えか。

(2) こうした、事故は、これからも、いつどこでも起きる可能性がある。再発防止や被害を拡大させないために市においてはどのような具体策を考えているか。

(3) 国際電気工場跡にイオンタウンが建設される予定で、今後、近隣周辺では交通量が急増することが考えられる。ここは通学路にもあたり、今回の事故を受けて、子供たちの安全を懸念する声があがっている。取り壊し、建築の工事も迫っていて、大型の車の進入にも心配する声があるが、市としては、どう子供たちの安全を確保していく考えか。

13 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

1. 地域防災計画（平成 25 年度改定）の今後は

- (1) 今後、計画をどのように具体化（立案体制・スケジュールなど）していくか。
(2) 近年増えてきた都市型水害対策について
① 具体的な危険個所は把握しているか。
② 早期に具体化する必要があるのではないかと考えるがどうか。

2. 市が所有する施設の利用状況などについて

- (1) 社会教育関係の団体について
① 文化系、スポーツ・レクリエーション系の登録団体数は。
② 使用料の減免を受ける団体数は、減免率ごとにそれぞれいくつか。
③ 文化系の利用実績は、減免率ごとにどうなっているか。
(2) 社会教育関係以外の団体について
① どれくらいの団体があるか把握しているか。
② それらの団体の利用実態と、その使用料はどうなっているか。
(3) 利用実態の把握について
① 申し込みをして実際に使っているかどうかを把握しているか。
② 使わなくなった時のキャンセル連絡などについて、団体にどのように指導しているか。
③ 連絡なくキャンセルした場合、何らかの指導をしているか。
④ とくに使用料を免除されている場合、利用の実態を把握し、以降の利用について指導すべきではないか。
(4) さらなる活用のために
① 管理者がいる施設では、実態を把握して適切に利用できるような仕組みを作ってはどうか。
② スイミングセンターなど駐車場が足りない施設について市民からの要望はないか。
③ スポーツセンター第 2 ホールの分割使用について、3 分割を望む声があるがどう考えるか。

8 月 29 日

14 人目

1 番

印 南 修 太
(30 分)

1. 観光振興と産業活性化について

- (1) 観光協会の法人化について
① いつ法人化する予定か。
② どのような組織体制か。
③ 設立後の事業計画は。(例えば、年に何%ずつ観光客の増加を見込む、など)
(2) 環境フェスティバルについて
① 動物公園を会場に加えてはどうか。
(3) 産業活性化について
① 羽村地域産業振興懇談会の今後の展開は。

8 月 29 日

15 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

②産業福祉センターの一部をシェアオフィスとして貸し出し、起業支援・雇用促進を図ってはどうか。

1. 区画整理撤回要求 第 26 弾

(1) 換地設計決定通知の不備を聞く。

- ①多くの反対を無視し、なぜいま換地設計決定をしたか。
- ②決定通知で送られる書類は何か。
- ③権利者から書類の追加要望はあるか。どんな書類を求められたか。
- ④求められた書類は存在するのか。
- ⑤書類が理解できぬ権利者にいつどのように、説明するか。
- ⑥事業反対や、書類不備を理由に受け取り拒否の権利者が出るだろう。どう対応するか。
- ⑦換地設計決定で、33 年までに事業完了と受け取る権利者が出るだろう。どう説明するか。
- ⑧換地設計決定で土地利用の利益、不利益を聞く。
- ⑨意見書は参考にするとのことだが、どのように活かすのか。
- ⑩決定後の作業行程を聞く。

2. 公共資産の総合マネジメント計画を聞く

(1) 公共資産総合計画の進捗状況を聞く。

- ①公共資産総合計画で、何年先までの見通しを立てるのか。
- ②公共施設借地分 23 万 5000 m²、この賃貸料 1 億 1200 万円。買い取るとするといかほどか。
- ③計画に建物、道路、上下水道などすべての公共施設が盛り込まれるか。
- ④公共建物維持保全計画で向こう 10 年間の維持補修費は 65 億円だ。20 年、30 年、40 年ではどうか。
- ⑤財政状況が厳しければ、借地解約や施設の整理統合も検討するのか。
- ⑥住民意見はどのように反映させるのか。
- ⑦公共資産総合マネジメント計画としての策定時期はいつ頃か。

8 月 29 日